

コンクリートの表層品質評価

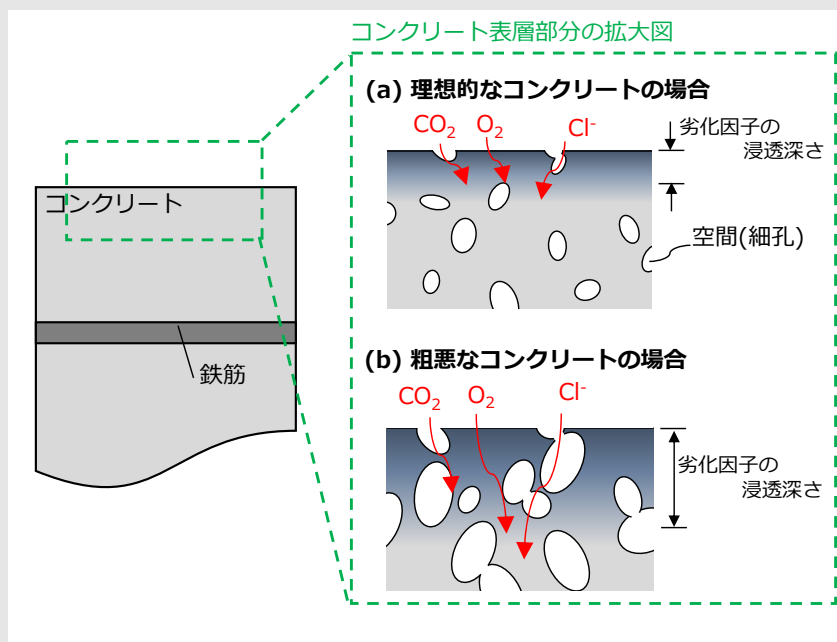
概要

表層透気試験（コンクリートや仕上材の品質評価）

コンクリートの性能は、コンクリートの配(調)合、打設方法、型枠の種類、養生方法によって大きく変化します。したがって表層コンクリートの品質を確認することは、耐久性能を考える上で非常に重要です。

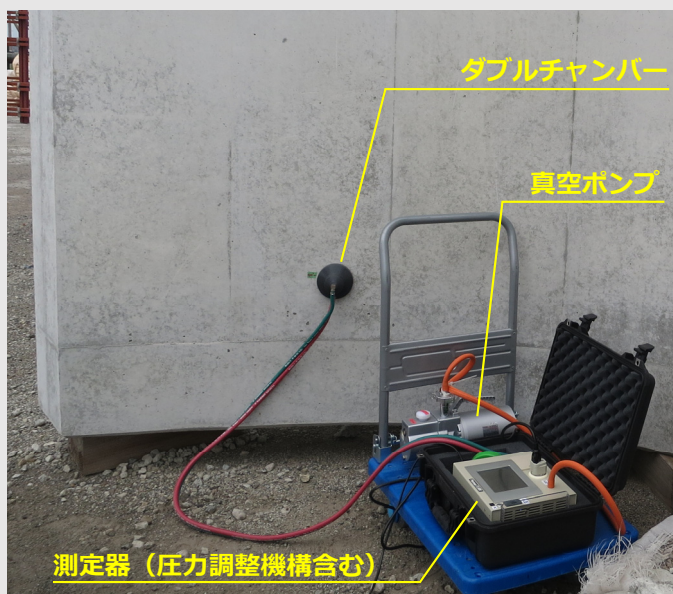
透気性は、国土交通省東北地方整備局において「コンクリート構造物の品質確保の手引き(案) (橋脚、橋台、函渠、擁壁編)」の中で、品質(コンクリート表層の緻密性)の評価方法の一つとして取り入れられています。

2020年8月、NDIS 3436 にて試験方法が規格化されました。



調査事例

- 事例1 表面含浸材施工効果の確認
- 事例2 コンクリート2次製品の品質評価
- 事例3 新設橋梁のコンクリート床版の品質評価



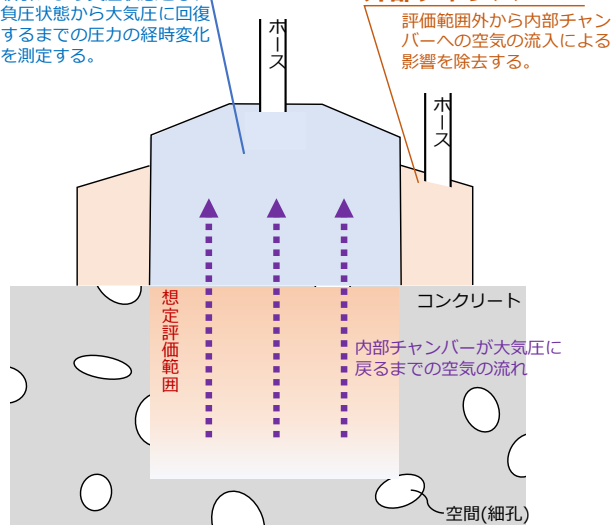
ダブルチャンバー法による透気試験の実施状況

内部チャンバー

吸引により負圧状態とし、負圧状態から大気圧に回復するまでの圧力の経時変化を測定する。

外部チャンバー

評価範囲外から内部チャンバーへの空気の流入による影響を除去する。



ダブルチャンバーによる透気試験の概念図

